



平成20年1月9日

## パキスタン北部地震復興事業と組積造耐震化に関する 講演会開催のお知らせ

建築研究所は、防災科学技術研究所、三重大学及び政策研究大学院大学と共同で文部科学省科学技術振興調整費をいただき、2006年度より開発途上国の住宅耐震化についての研究開発に取り組んでいます。

今般、別紙のとおり、1月25日(金)に建築研究所におきまして、2005年10月のパキスタン北部地震からの教訓、復興事業の動向と、昨年12月27日に実施した振動台実験 (<http://www.kenken.go.jp./japanese/information/information/press/20071213-1.pdf>) の成果を踏まえた組積(レンガ)造の研究について講演会を開催しますのでご参加いただきたくご案内申し上げます。本講演会では、建築研究所の研究者に加えて世界的に活躍されているパキスタン・ペシャワール工科大学 (UETP) カイザール・アリ教授を招聘しています。参加いただける場合には、建築研究所 今井弘 (TEL:029-879-0746 (直通)、Email: imai@kenken.go.jp) までお申し込みください。

### (内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

国際協力審議役

氏名 榎府 龍雄

電話 029-879-0689 (直通)

E-mail narafu@kenken.go.jp

## パキスタン北部地震復興事業と組積造耐震化に関する講演会

建築研究所は、防災科学技術研究所、三重大学及び政策研究大学院大学と共同で文部科学省科学技術振興調整費をいただき、2006年度より開発途上国の住宅耐震化についての研究開発に取り組んでいます。

2005年10月のパキスタン北部地震からの教訓、復興事業の動向と、昨年12月27日に実施した振動台実験 (<http://www.kenken.go.jp./japanese/information/information/press/20071213-1.pdf>) の成果を踏まえた組積(レンガ)造の研究について講演会を開催しますのでご参加いただきたくご案内申し上げます。本講演会では、建築研究所の研究者に加えて世界的に活躍されているパキスタン・ペシャワール工科大学(UETP) カイザール・アリ教授を招聘しています。

**日時: 2008年1月25日(金)16:45~18:45(予定)**

**場所: 独立行政法人 建築研究所 1F 国際地震工学センター 講堂**

### 内容:

#### **Session1: パキスタン北部地震復興事業 (16:45~17:30)**

- 1-1. 地震からの教訓、復興の動向 / カイザール・アリ教授(UETP)
- 1-2. 地震復興に関して / 今井弘(建築研究所)

#### **Session2: 組積(レンガ)造の研究に関して (17:30~18:45)**

##### 2007年12月27日に防災科研にて実施されたレンガ造実大振動台実験の報告

- 2-1. 組積造における有限要素法(FEM)解析の適用 / カイザール・アリ教授(UETP)
- 2-2. 組積造における個別要素法(DEM)解析の適用 / 中川貴文(建築研究所)



#### 招聘者紹介

Qaisar Ali, PhD

Director, Earthquake Engineering Center, Department of Civil Engineering

Professor, NWFP University of Engineering and Technology, Peshawar Pakistan

Editorial Board Member of World Housing Encyclopedia

カイザール・アリ教授(パキスタン・ペシャワール工科大学、地震工学センター長): パキスタン北部地震復興事業では、復興省 ERRA の技術コンサルタント(構造設計)として医療施設・学校の標準設計や、地震後の新建築基準法の制定に従事する。組積造の研究に関してこれまで数多くの要素実験や、ダイナマイト爆破による振動実験を行っており、また組積造の FEM(有限要素法)解析を確立している。世界的にも World Housing Encyclopedia の論文査読委員であり、組積造の構造建築家として活躍している。